

検索、調査能力

6-1 検索エンジンの利用

ここでは検索エンジンを使って情報を入手する方法などを解説します。

6-1-1 情報の入手

インターネットから目的の情報を入手するには、検索エンジンを利用する方法がもっとも効率的です。代表的な検索エンジンには「Yahoo! JAPAN」や「Google」、 「Bing」などがあります。また、入手した情報の価値を適切に判断することも重要です。

■ 検索エンジンを利用して情報を入手する

検索エンジンによる情報の検索は、基本的に検索条件となるキーワードを入力して行います。また演算子を利用して複数の条件を指定したり、特定のサイトを指定したり多彩な検索が可能です。ここでは高度な検索の例として、完全に一致する文字列を検索する方法、高度な検索ツールの利用を解説します。

完全に一致する文字列を検索する

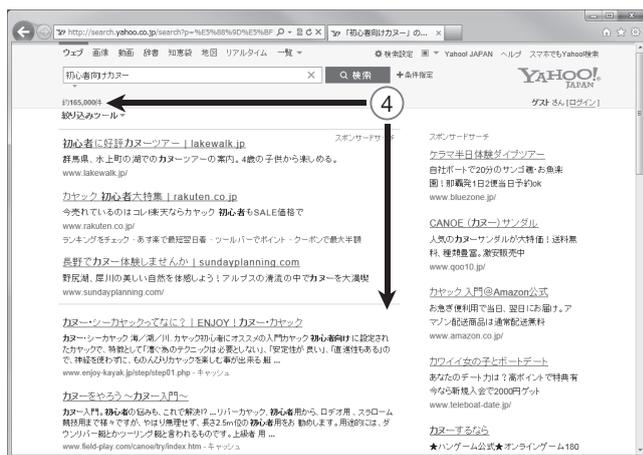
検索エンジンは通常、指定したキーワードの文字列と完全に一致しなくとも、語順や表記が似ていたり、関連したりする文字列を含むWebページを検索結果に表示します。キーワードと完全に一致する文字列を含むWebページのみを検索するには、キーワードを「」（ダブルクォーテーション）で囲んで指定します。

【実習】「Yahoo! JAPAN」を使って、キーワード「初心者向けカヌー」を指定し、関連するWebページを検索します。次にキーワードを「」で囲んで完全一致で検索し、検索結果を比較します。

- ① IE 9を起動し、「Yahoo! JAPAN」のトップページ (http://www.yahoo.co.jp/) を開きます。
- ② キーワードを入力するボックスをクリックし、「初心者向けカヌー」と入力します。
- ③ [検索] ボタンをクリックします。



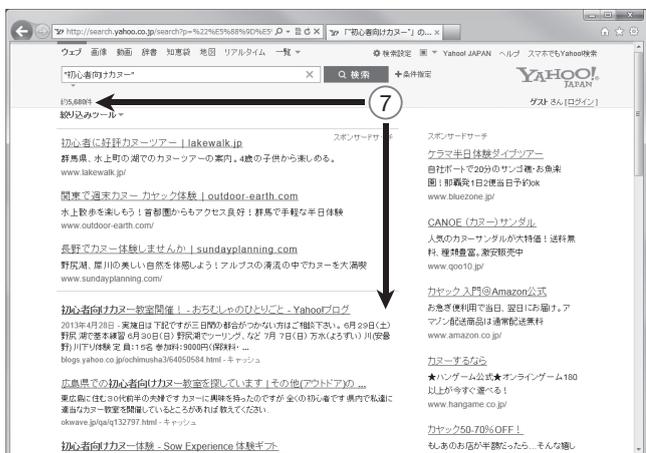
- ④ 「初心者向けカヌー」に関するWebページの一覧が検索結果に表示されます。
 ※検索結果に「初心者向けカヌー」と完全に一致しないWebページが表示されていることを確認しておきます。
 ※検索にヒットした件数も確認しておきましょう。



- ⑤ キーワードを入力するボックスの「初心者向けカヌー」を「」で囲んで「初心者向けカヌー」"とします。
- ⑥ [検索]ボタンをクリックします。



- ⑦ 検索結果に「初心者向けカヌー」と完全に一致するWebページのみが表示されていることを確認します。
- ※④で確認した件数から絞り込まれていることがわかります。



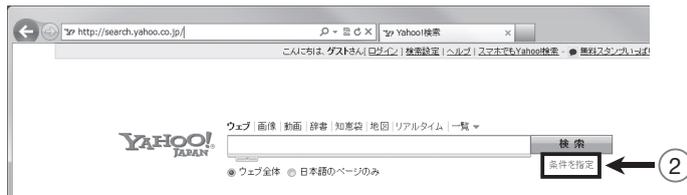
高度な検索ツールを利用する

高度な検索ツールを利用すると、演算子を入力しなくても複雑な条件で検索できます。

【実習】「Yahoo! JAPAN」の高度な検索ツールで、チーズを使った卵料理について検索します。ただし、オムレツは除いて検索します。

- ① IE 9 を起動し、アドレスバーに「http://search.yahoo.co.jp/」と入力して、Yahoo! JAPANの検索ページを開きます。

② [検索] ボタンの下にある[条件を指定]をクリックします。



③ [すべて含む]の入力ボックスに「卵料理」、[順番も含め完全に一致]に「チーズ」、[含まない]に「オムレツ」と入力します。

④ [検索] ボタンをクリックします。



⑤ 検索結果のWebページの一覧を確認します。

※検索結果を確認したら、IE 9のウィンドウは閉じておきましょう。



Google による高度な検索

Googleでも同様に高度な検索が可能です。検索キーワードを「**」**で囲むと完全一致で検索でき、「**-**」などの演算子を使うと複雑な条件で検索できます。

Googleで高度な検索をするには、「検索オプション」画面を利用します。「検索オプション」画面を表示するには、次の二通りの方法があります。

- 「http://google.co.jp」でキーワードを入力するボックスに、主となるキーワードを入力して、検索結果画面の右側にある[オプション]ボタンから[検索オプション]を選択する方法
- IE 9を起動して、アドレスバーに「http://google.co.jp/advanced_search」と入力して「検索オプション」画面を表示して検索する方法

Google の検索オプションを表示する方法の例



Google の便利な使い方

Googleは、インターネット上のWebサイトから情報を検索するだけでなく、検索ボックスに数式を入力して計算を実行したり、通貨や単位を換算したりできます。





■ インターネットで入手可能な情報資源の価値

インターネット上で公開されている情報の提供者は、企業や団体、個人などさまざまです。公開されている情報はすべて信頼できる有益なものばかりではなく、中には真実ではなかったり、社会倫理に反したりする情報も混在しています。インターネットで得た情報は、適切性や信頼性、妥当性、偏りなどの基準から、ユーザーが自ら判断して利用しなければなりません。

適切性

情報を収集する目的と情報源の性質の両者を理解したうえで、収集した情報を検討し、活用に値するか判断します。一般的に、次のような順で活用に適した情報を得られる可能性が高いといえます。

(1) 行政機関のサイトや学術サイト

公共性や専門性の高い情報源からは、信頼性の高い情報が得られます。

(2) インターネット上の編集可能な文書群 (Wiki)

多くのユーザーによって、さまざまな情報の中から価値ある情報だけが残る仕組みがあります。継続的改善によって形成された情報からは、活用に適した情報を得られる可能性が高いといえます。

(3) 専門性の高い個人の Web サイト

個人のWebサイトであっても、実績のある専門家など社会的に信頼されている人物のWebサイトやブログからは、有益な情報が得られることがあります。